

科目名	後療法実技1							年度	2025
英語科目名	Aftertreatment theory 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	星野虎之助	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 医師と柔道整復師に限られた独占的業務である骨折・脱臼の整復について、その回復までの施術効果を補完するために後療法の実技を学ぶ。									
【科目の概要】 部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。									
【到達目標】 後療法とは、固定を除去した日から始まるものではなく、患部外への手技療法や運動療法など固定を施した直後から開始されるものである。各療法ともその意義を十分に理解して、注意すべき禁忌事項を把握した上で、必要な技術を体得する事を到達目標とする。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。実技であるため白衣未着用であったり、爪の手入れ不足などの不衛生な状態での授業参加も認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	後療法の意義について完全に理解している。	後療法の意義について大体理解している	後療法の意義について部分的に理解している。	後療法の意義についての理解がやや不足している。	後療法の意義について理解していない。				
到達目標 B	背部～下肢の触診を的確に行うことができる。	背部～下肢の触診を大体行うことができる。	背部～下肢の触診の必要性について理解はしている。	背部～下肢の触診の必要性についてやや理解不足である。	背部～下肢の触診の必要性について理解していない。				
到達目標 C	背部のマッサージについて効果的に行うことができる。	背部のマッサージについて概ね行うことができる。	背部のマッサージについての必要性は理解はしている。	背部のマッサージについての必要性がやや理解不足である。	背部のマッサージについての必要性を理解していない。				
到達目標 D	下肢のマッサージについて効果的に行うことができる。	下肢のマッサージについて概ね行うことができる。	下肢のマッサージについての必要性は理解はしている。	下肢のマッサージについての必要性がやや理解不足である。	下肢のマッサージについて効果的に行うことができる。				
到達目標 E	徒手筋力テスト法を完全に理解している。	徒手筋力テスト法を大体理解している。	徒手筋力テスト法の必要性は理解している。	徒手筋力テスト法の必要性がやや理解不足である。	徒手筋力テスト法を理解していない。				
【教科書】 教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。									
【参考資料】 あん摩マッサージ指圧実技（基礎編）東洋療法学校協会編									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		後療法実技1			年度	2025
英語表記		Aftertreatment theory 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	後療法の歴史、必要性について考える	1 手技療法の歴史	後療法がどのように発展したかを理解する	3	
			2 接骨院での実際	臨床での実際の手技の運用方法を理解する		
			3 手技の種類	手技の種類、名称を理解する		
2	背部、下肢の筋の特徴	背部から下肢の筋について理解する	1 筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 起始停止	各筋の起始停止を理解する		
			3 作用	各筋の作用や働きを理解する		
3	背部の触診	背部の筋、知覚神経について考え、技術を習得する	1 筋の形状	各筋の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 支配神経、知覚神経	各筋の支配神経、圧痛等の知覚神経の理解する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
4	脊柱起立筋のマッサージ	椎骨の形状について考え、技術を習得する	1 各種椎骨の特徴	各椎骨の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 椎骨部位の名称	各椎骨の名称、特徴を理解する		
			3 肋骨の形状	各椎骨の形状を理解し、適した技術を習得する		
5	腰部と臀部の触診	腰部、臀部の筋について理解する	1 筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 起始停止	各筋の起始停止を理解する		
			3 作用	各筋の作用や働きを理解する		
6	腰部と臀部のマッサージ	腰部、臀部の筋の走行や神経について考え、技術を理解する	1 各筋の特徴	各筋の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 支配神経、知覚神経	各筋の支配神経、圧痛等の知覚神経の理解する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
7	大腿後面の触診	大腿後面の筋について理解する	1 筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 起始停止	各筋の起始停止を理解する		
			3 作用	各筋の作用や働きを理解する		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 各筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 各筋の特徴	各筋の形状や走行を理解し触診できるか確認する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
9	大腿後面のマッサージ	大腿後面の筋の走行、神経について考え、技術を習得する	1 各筋の特徴	各筋の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 支配神経、知覚神経	各筋の支配神経、圧痛等の知覚神経の理解する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
10	下腿の触診	下腿の筋について理解する	1 筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 起始停止	各筋の起始停止を理解する		
			3 作用	各筋の作用や働きを理解する		
11	下腿後面のマッサージ	下腿後面の筋の走行、神経について考え、技術を習得する	1 各筋の特徴	各筋の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 支配神経、知覚神経	各筋の支配神経、圧痛等の知覚神経の理解する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
12	足部の触診	足部の筋、靭帯について理解する	1 筋、靭帯の名称	各筋や靭帯の名称や働きを理解する	3	
			2 起始停止	各筋や靭帯の起始停止を理解する		
			3 作用	各筋や靭帯の作用や働きを理解する		
13	足部のマッサージ	足部の筋の走行、神経について考え、技術を習得する	1 各筋の特徴	各筋や靭帯の形状や走行を理解し触診できるか確認する	3	
			2 支配神経、知覚神経	各筋の支配神経、圧痛等の知覚神経の理解する		
			3 手技の実技	各筋の形状を理解し、適した技術を習得する		
14	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 各筋の名称	各筋の名称や働きを理解する	3	
			2 各筋の特徴	各筋の起始停止を理解する		
			3 手技の実技	各筋の作用や働きを理解する		
15	徒手筋力テスト法	徒手筋力テスト法について理解する	1 判定基準	6段階の判定基準を習得する	3	
			2 方法	評価方法を習得する		
			3 実際	実際の身体諸筋の筋力評価を習得する		

評価方法：1. 小テスト、63. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等